

小児がん連携病院 現況報告書

令和6年9月1日時点について記載

1. 指定区分

令和7年4月1日以降、指定を希望する指定の区分について、下のボタンを選択してください。

(複数の類型の指定を希望する場合にも、第一希望の類型を一つだけ選択してください。)

- 類型1－A(地域の小児がん診療を行う連携病院)
- 類型1－B(地域の小児がん診療を行う連携病院)
- 類型2(特定のがん種等についての診療を行う連携病院)
- 類型3(小児がん患者等の長期の診療知性の強化のための連携病院)

2. 病院概要

病院名(表紙シートの病院名を反映)

市立函館病院
しりつはこだてびょういん

よみがな

〒 041-8680

郵便番号

北海道 函館市港町1-10-1

住所

はこだてしみなどちょう

よみがな

0138-43-2000

電話(代表)

0138-43-4434

FAX(代表)

hmh@hospital.hakodate.hokkaido.jp

e-mail(代表)

<https://www.kanbyou.jp/>

HPアドレス

診療科

開設診療科数

29

血液内科, 緩和ケア科, 呼吸器内科, 消化器内科, 循環器内科, 脳神経内科, 呼吸器外科, 消化器外科, 心臓血管外科, 脳神経外科, 乳腺外科, 整形外科, 形成外科, 精神神経科, 小児科, 皮膚科, 泌尿器科, 産婦人科, 眼科, 耳鼻咽喉科, リハビリテーション科, 放射線診断・IVR科, 放射線治療科, 病理診断科, 救急科, 麻酔科, 歯科, 矯正歯科, 歯科口腔外科

病床数

総病床数

648 床

診療実績（令和5年1月1日～12月31日）

施設全体の入院患者延べ数(18歳以下) ※1	705	人
施設全体の入院患者実数(18歳以下) ※1	604	人
小児がん入院患者延べ数 ※2	1	人
小児がん入院患者実数 ※2	1	人
小児がん入院患者在院延べ日数 ※3	102	日
外来小児がん患者数 ※4	130	人
緩和ケアチームが新規で診療を実施した小児がん患者数 ※5	0	人
セカンドオピニオンの対応を行った小児がん患者数 ※6	0	人
他施設から紹介され受け入れた小児がん患者数 ※7	0	人
小児がん患者の紹介を受けた医療機関数 ※8	0	機関
小児がん患者の他施設への紹介患者数 ※9	0	人
小児がん患者を紹介した医療機関数 ※8	0	機関

※1 当該医療機関で入院加療を行う入院時18歳以下の患者の延べ数と実数をそれぞれ計上する。令和5年1月1日以降に入院した患者を数える。

入院した患者がその日のうちに退院あるいは死亡した場合も1人と計上する。

入院患者延べ数については、当該年に同一患者が2回入院した場合は2人とする。(入院日数によらず、1回の入院あたり1人を計上する。)

※2 当該医療機関で入院加療を行う入院時18歳以下の患者のうち、小児がん患者(「診断時18歳以下のがん患者」と定義する)の延べ数と実数をそれぞれ計上する。令和5年1月1日以降にがんの診療を目的として入院した患者を数える。

骨折での入院のような他疾患の治療目的での入院は除外するが、フォローアップ検査等での入院は含む。

入院した患者がその日のうちに退院あるいは死亡した場合も1人と計上する。

入院患者延べ数については、当該年に同一患者が2回入院した場合は2人とする。(入院日数によらず、1回の入院あたり1人を計上する。)

※3 当該医療機関で入院加療を行う入院時18歳以下の患者のうち、小児がん患者(「診断時18歳以下のがん患者」と定義する)の在院延べ日数を計上する。

前年から入院している症例は、1月1日を起算日とする。翌年まで入院している場合は12月31日を退院日としてカウントする。

当該期間内のがんの診療目的での入院を数える。(他疾患の治療目的(例:骨折にて入院)での入院は除外、フォローアップ検査等は含む)

(入院した患者がその日のうちに退院あるいは死亡した場合も1日と計上する。)

(入院時点で診断がなされていない場合は、がんの診断日を入院初日とする。)

※4 診断時18歳以下を対象とする。初診料もしくは再診料を算定した小児がん患者の延べ数を記入する。
同一患者が2つ以上の診療科を受診した場合は、それぞれの患者として計上する。

※5 診断時18歳以下を対象とし、総数(実数)を計上する。終末期の患者だけではなく、緩和ケアチームが検討した結果、診察・薬剤・リハビリなど診療行為の対象となった患者を含むが、カンファレンスのみを行い、実際の診療行為が行われていない患者は含まない。

※6 診断時18歳以下を対象とし、延べ数を計上する。なお、当該年に2回セカンドオピニオンを行った患者は、2人と計上する。

※7 診断時18歳以下を対象とし、延べ数を計上する。なお、フォローアップ目的の紹介を含む。

※8 重複のない実数を計上する。

※9 診断時18歳以下を対象とし、延べ数を計上する。なお、紹介時には18歳を超えていても構わないが、がんに関連しない疾患での紹介(齶歯に対する歯科診療など)は含めない。転院目的での紹介は含むが、同時期に複数病院へ同一内容で紹介した場合は1人と計上する(同時期に異なる内容で紹介または異なる時期に同一内容で紹介の場合は別で計上する)。

小児がんに関する専門外来の名称

なし

一般社団法人日本造血・免疫細胞療法学会 造血細胞移植認定医
 公益社団法人日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医
 一般社団法人がん治療認定医機構 がん治療認定医
 公益社団法人日本放射線腫瘍学会・公益社団法人日本医学放射線学会 共同 放射線治療専門医
 公益社団法人日本医学放射線学会 放射線診断専門医
 特定非営利活動法人日本緩和医療学会 緩和医療専門医
 特定非営利活動法人日本緩和医療学会 緩和医療認定医
 一般社団法人日本内分泌学会 内分泌代謝科(小児科)専門医
 特定非営利活動法人日本小児循環器学会 小児循環器専門医
 一般社団法人日本小児麻醉学会 認定医
 公益社団法人日本看護協会 がん看護専門看護師
 公益社団法人日本看護協会 小児看護専門看護師
 公益社団法人日本看護協会 地域看護専門看護師
 公益社団法人日本看護協会 がん化学療法看護認定看護師 または がん薬物療法認定看護師
 公益社団法人日本看護協会 緩和ケア認定看護師 または がん性疼痛看護認定看護師
 公益社団法人日本看護協会 がん放射線療法看護認定看護師
 公益社団法人日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師
 公益社団法人日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師
 特定非営利活動法人日本小児がん看護学会 小児がん看護師
 一般社団法人日本輸血・細胞治療学会 臨床輸血看護師
 一般社団法人日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師
 一般社団法人日本医療薬学会 がん専門薬剤師
 公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士
 一般財団法人 医学物理士認定機構 医学物理士
 一般社団法人日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師
 公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会 臨床心理士
 一般社団法人 日本病態栄養学会/
 公益社団法人 日本栄養士会 がん病態栄養専門管理栄養士
 一般社団法人日本人類遺伝学会
 /一般社団法人日本遺伝カウンセリング学会 認定遺伝カウンセラー
 特定非営利活動法人子ども療養支援協会 子ども療養支援士
 一般社団法人日本チャイルド・ライフ・スペシャリスト 認定チャイルド・ライフ・スペシャリスト
 特定非営利活動法人日本ホスピタル・プレイ協会 ホスピタル・プレイ・スペシャリスト
 (日本でカリキュラム受講・資格を取得した者)
 ホスピタル・プレイ・スペシャリスト
 (英国でカリキュラム受講・資格取得をした者、health play specialistを含む)

2	2
0	0
10	10
1	1
3	3
1	1
0	0
0	0
0	0
0	0
0	0
6	6
3	3
0	0
0	0
3	3
0	0
2	2
4	4
0	0
5	5
1	1
3	3
2	2
2	2
0	0
0	0
0	0
0	0
0	0

共通要件		
以下に準じた連携の協力体制を構築していること。 小児がん連携病院や地域の医療機関等から紹介された小児がん患者の受け入れを行っている。 小児がん患者の状態に応じ、小児がん連携病院や地域の医療機関等へ小児がん患者の紹介を行っている。 小児がんの病理診断又は画像診断に関する依頼や手術療法、放射線療法又は薬物療法に関する相談など、小児がん連携病院や地域の医療機関等の医師と相互に診断及び治療に関する連携協力体制を整備している。 がんゲノム医療中核拠点病院等と連携して、がん遺伝子パネル検査等に試料を提出するための体制も整備している。	A -	はい はい はい はい はい はい はい はい はい (はい／いいえ) (はい／いいえ) (はい／いいえ) (はい／いいえ) (はい／いいえ)
以下に準じた人員配置を行っていること。 用語の定義： 専任：当該診療の実施担当者で、その他の診療を兼任していても差し支えないが、就業時間の少なくとも5割以上、当該診療に従事しているもの。 専従：就業時間の少なくとも8割以上、当該診療に専ら従事しているもの。 ※専任の人数には、専従も含めて記載すること。		
① 専門的な知識および技能を有する医師の配置 ア 小児がんの薬物療法に携わる専門的な知識および技能を有する医師の人数。	- 	4 人 人 1人以上
イ 小児の手術に携わる、小児がん手術に関して専門的な知識および技能を有する医師の人数。	- 	4 人 0 人 0 人 1人以上
ウ 小児がんの放射線療法に携わる専門的な知識および技能を有する医師の人数。	- 	0 人 0 人 0 人 1 人 1人以上
エ 緩和ケアチームの、身体症状の緩和に携わる専門的な知識および技能を有する医師の人数。	- 	2 人 1人以上
エ' 緩和ケアチームの、精神症状の緩和に携わる専門的な知識および技能を有する医師の人数。	- 	0 人 2 人 1人以上
院内の小児がん診療に携わる医師のうち、PEACE(成人の緩和ケア研修会)修了者数 院内の小児がん診療に携わる医師のうち、CLIC(小児の緩和ケア研修会)修了者数	- 	5 人 1 人 1 人 1 人 1人以上
オ 病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の人数。	- 	1 人 1 人 1 人 1 人 1 人
厚生労働省委託事業小児・AYA世代のがんの長期フォローアップ体制整備事業による「小児・AYA世代のがんの長期フォローアップに関する研修会」を受講した医師の人数。	- 	1 人 1 人 1 人 1 人
うち長期フォローアップに携わる部門に配置されている医師の人数	-	1 人

	また、自施設のがん診療に携わる全ての診療従事者が受講している。 小児がん連携病院や地域の医療機関等の多職種の診療従事者も参加する小児がんの診療、相談支援、がん登録及び臨床試験等に関する研修会等を毎年定期的に開催し、人材育成等に努めている。	B	いいえ	(はい／いいえ)
	学会・教育・研修活動のための予算が計上されている。	A	いいえ	(はい／いいえ)
	論文発表、学会発表等を病院業績集等で報告している。	-	いいえ	(はい／いいえ)
		-	いいえ	(はい／いいえ)
その他 診療実績				
①	小児がんについて年間(令和5年1月1日～12月31日)新規症例数が30例以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。	-	いいえ	(はい／いいえ)
②	固形腫瘍について年間(令和5年1月1日～12月31日)新規症例数が10例程度以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。	-	いいえ	(はい／いいえ)
③	造血器腫瘍について年間(令和5年1月1日～12月31日)新規症例数が10例程度以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。	-	いいえ	(はい／いいえ)
	診療実績等について別紙2に記載すること。			別紙2

様式6(病院機能)の該当指定要件のAのうち満たしていない項目について

記載の有無:未充足あり／不要

入力済

病院名: 市立函館病院

時期・期間: 令和6年9月1日時点

※様式6(病院機能)の該当指定要件のAのうち満たしていない項目について、満たしていない項目とその理由と今後の見通し等について具体的に記載してください。

※通し番号については、様式6(病院機能)シートのP列の番号を記入してください。

※令和6年9月2日以降に、要件の充足状況に変動があった場合には、別途、文書で厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課へ届け出してください。

※右上について、最初は「不要」と表示されます。様式6(病院機能)を入力後に、上部にある「様式6(病院機能)シートの入力後、クリックしてください。」ボタンを押下ください。未充足要件が抽出されます。

通し番号 ※自動反映	令和6年9月1日時点で満たしていない要件 ※自動反映	現状の説明	充足見込み時期
例 93	日本医療機能評価機構の審査等の第三者による評価を受けている。	9月1日時点で、日本医療機能評価機構の審査等の第三者による評価を受けていない。	令和〇年〇月〇日に、日本医療機能評価機構の審査等の第三者による評価を受ける予定である。
例 167	院内がん登録の実務を担う者として、国立がん研究センターが提供する研修で認定を受けている者を1人以上配置している。	〇月〇日付で該当する者が退職し、9月1日時点で配置できていない状況である。	令和〇年〇月〇日に、該当する者を新規採用予定である。
1 178	自施設の診療従事者等を中心に、小児がん対策の目的や意義、患者やその家族が利用できる制度や関係機関との連携体制、自施設で提供している診療・患者支援の体制について学ぶ機会を年1回以上確保している。	人員不足と小児がん症例が少ないため	人員が確保出来次第
2 180	小児がん連携病院や地域の医療機関等の多職種の診療従事者も参加する小児がんの診療、相談支援、がん登録及び臨床試験等に関する研修会等を毎年定期的に開催し、人材育成等に努めている。	人員不足と小児がん症例が少ないため	人員が確保出来次第
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			